

第10回 保育部会研究委員報告書

浜田市保育連盟会長 山 崎 央 輝			保育部会長 宮本 ゆかり		
開催 日時	令和6年12月17日	開催場所	浜田市総合福祉センター 研修室	記 録 者	佐々木 望 (みのり第2保育園)
	14:00 ~ 17:00				
出席者	うみかぜこども園 おぐに保育園 くもぎ保育園 浜田ひかり保育園 三隅保育所 みのり第2保育園			欠 席 者	なし

【協議内容】

◎各園実践して見えてきたこと、変化、難しさなどについて話し合う。

- A園**
- ・保育ウェブの進め方や意図が見出せないという職員もいる中で月1回継続する難しさがある。⇒ 継続してみる。
 - ・クラス保育 ⇒ 交流保育へ
 - ・今の子どもの姿(遊び)に合わせた環境を工夫している。
 - ・食事面…1歳児：できそうな子から自分で片付けられる環境へ

- B園**
- ・1歳児：食事の量を選べるようにしてみた。
⇒量を意識する子、自分で選んだから食べようとする子が増えた。
 - ・トイレ：子どものタイミングに合わせてみた。
⇒みんな行きたがらない… (長い目で見守ってみる)
 - ・2歳児：自分のタイミングでトイレへ

- C園**
- ・0, 1歳児の部屋の仕切りを取り、見通しが良くなるよう環境を変えてみた。 ⇒子どもから先生の姿が見えやすくなることで安心して遊びこめるようになった(安心感につながる)
 - ・コーナーも作りやすかった。
 - ・アタッチメントの意識(子ども同士の関わりを大事にできるような職員の立ち位置) ⇒ 共通理解

- D園**
- ・月1回【遊び】についての話し合いをしてみる。⇒保育ウェブにつながる
 - ・1歳児クラスに年長児が交流に行く。

- E園**
- ・未満児に年長児が交流 ⇒ お互いがいて当たり前存在に。
※やってほしい! → 自分でやりたい!へ変わってきた。(見守る)
 - ・年長児が刺激になり、遊びが広がる。片付けも見て覚える姿が増えた。
⇒ 保育士が伝えなくても見て学ぶことたくさん!
※大人が難しいだろうと思っていることも子どもは柔軟にこなす。

★アンケート作成(0, 1歳児クラス対象【子ども主体】に向けて)

※1月各園配布：1月末回収、集計を行う。

★2月19日(水)：神田保育園へ視察研修(研修委員6名)

●次回研究委員会…視察研修、アンケート集計後行う。(未定)

以上

各園で実践して見えてきたことや変化、やってみての難しさなどの情報交換を行いました。前回のアンケートから一年経ち、各園での【子ども主体】に向けての取り組みの実態についてのアンケートを改めて作成し、年明けに配布します。また、視察研修いき、今後に向けて内容を深めていきたいと思えます。